

蜜蜂を飼育されてる皆様へ

長崎県壱岐市で「ツマアカスズメバチ」を確認！

本年9月下旬、長崎県壱岐市において、特定外来生物であるツマアカスズメバチが新たに確認されました。

ツマアカスズメバチは、主に蜜蜂などの昆虫類を補食するといわれ、養蜂業への影響が懸念されています。

ツマアカスズメバチについて

- ◆原産地：中国、台湾、東南アジア、南アジア
- ◆形態：体は**全体的に黒っぽく腹部の先端がオレンジ色**
女王蜂30mm、オス24mm、働き蜂20mm程度
- ◆生態：オオスズメバチのように**蜜蜂の巣は襲わないが、巣箱の前でホバリングして、帰巣してきた蜜蜂を空中で捕獲する。**
樹木の高い位置に営巣することが多い。
- ◆経過：平成24年10月 長崎県対馬市で国内初確認（→定着を確認）
平成27年 9月 福岡県北九州市で確認（巣を確認→定着なし）
平成28年 5月 宮崎県日南市で確認（女王蜂を捕獲→定着なし）

今回の経緯

- ◆捕獲日時：平成29年9月24日
- ◆捕獲場所：長崎県壱岐市芦辺町
- ◆捕獲者：市内の養蜂農家
- ◆捕獲状況：蜜蜂巣箱付近で個体を捕獲、環境省が捕獲個体の画像で確認。



ツマアカスズメバチ



ツマアカスズメバチの巣

ツマアカスズメバチの生息やそれを疑う営巣を発見した場合は、当所に連絡して下さい。